

生徒とのふれ合い、生徒の活動が生きる校務改革

山鹿市立山鹿中学校

1 本校が目指す方向

本校は、鹿本教育事務所と山鹿市教育委員会が推進する山鹿市教育創造「夢プロジェクト」の一環として、生徒と向き合う時間の確保のために校務改革に取り組んだ。

本校の学校教育目標は「自分の将来に目標や夢を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」である。

この学校教育目標を達成するために、「あきらめない絶対にあきらめない」という山中スピリッツを掲げ、職員も「教師の毎日の実践でしか子どもも親も変えられない」を合言葉に日々の教育実践を行っていた。しかし、多忙感と同時に子どもと関わる時間の少なさを感じるが多かった。

2 課題解決のために

子どもを育てるために子どもと関わる時間を確保するという課題を解決するために、本校では以下のような視点で校務の改革を行い、本来の学校を取り戻す努力をしている。

- (1) 子どもと向き合い子どもに寄り添う時間を確保する。
- (2) どの子も自分の子どもだと思っ教育を行う。
- (3) アンテナを高く張る人権感覚を持つ。

3 具体的な方策

課題解決のための視点に沿って具体的な方策を考え、全職員で実践を行った。これを山鹿中学校の Only One として推進した。

(1) 子どもと向き合い子どもに寄り添う時間を確保する。

① 会議等や職員朝会の削減

以前は、定期的な会議と毎朝の職員朝会を実施していたが、子どもと触れ合う時間を確保するために、会議・研修や朝会の削減を行った。会議や研修は時期を考慮して基本的には長期休業中に行い、授業日には最小限で済ませるようにしている。また、朝会は週1回の実施とし、子どもと関わる時間を拡充させている。

会議や朝会の削減を補完するために、「行事の手引き」と「指導の手引き」を作成している。

山鹿中学校の学校教育目標

- 自分の将来に目標や夢を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成

山中スピリッツ

あきらめない 絶対に あきらめない

学校とは・・・

- 「子どもが、安全に伸び伸びと過ごせる楽しい場所」
- 「昨日より今日、今日より明日と日々伸びていることを実感できる場所」
- 「自分探しの旅への始発駅」

授業日の会議の精選

	H20	H22	H24
職員会議	28	25	6
校内研修	15	19	2
人権教育研修	2	1	1
校外研修	12	6	8
計	57	51	19

※ 必要な会議・研修等は長期休業中に集中して行う

「行事の手引き」と「指導の手引き」



朝の職員室



朝自習の様子



放課後学習会の様子

② 放課後学習会の継続的实施

放課後、基礎学力の定着を目的に30分間程度の学習会を実施している。生徒は基本的な問題演習に職員とともに取り組んでおり、質問することも多い。

(2) どの子も自分の子どもだと思って教育を行う。

①山中「愛の1・2・3」の徹底

本校では学年ごとの出欠白板があり、生徒の出欠状況がひと目で分かるようになっている。欠席が連続する場合は、1日目が黒・2日目が青・3日目が赤のペンで記入するようになっており、家庭連絡や家庭訪問をした場合には印をつけるようにしている。このことによって、学年担当は誰でも生徒の状況を把握することができ、担任を含めた学年部でチームを組み子どもと関わることができている。

②習熟度別少人数学習

授業での少人数学習を実施し、「勉強が分かったと学校が楽しい」ことを実感させる取組を行っている。

③自主学習の習慣付け

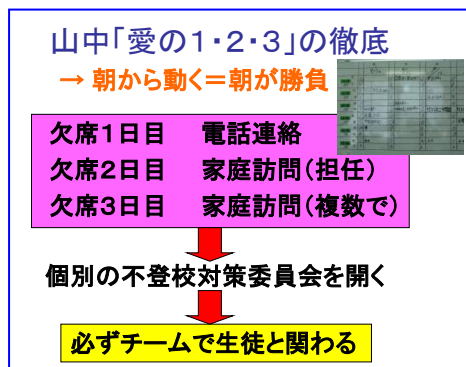
学力充実日課を設け、放課後を全員自主学習の時間として使い、学習の習慣付けを図っている。



少人数学習の様子



自主学習の様子



(3) アンテナを高く張る人権感覚を持つ。

①山鹿中学校人権宣言5ヶ条の徹底

以前の生徒会が生徒の意見をまとめて作り上げた人権宣言を毎朝各学級で唱和している。継続することで人権意識の涵養を図っている。

②生徒の心を揺さぶる。

新聞でのいじめ報道のあとに生徒会を中心に自主的に人権集会を開いた。生徒が自分の言葉で語りかけた。



生徒の手による人権集会

山鹿中学校人権宣言五ヶ条

- 私たちは、いじめや差別を絶対に許しません。
- 私たちは、お互いに人の気持ちを考えて行動します。
- 私たちは、正しいことを正しいと言える勇気を持ちます。
- 私たちは協力し、信頼しあえる仲間づくりをします。
- 私たちは、みんなが仲良く過ごせる山鹿中学校を目指します。

4 生徒の変容

(1) 目指せ「あいさつ日本一」

生徒会は自分たちの手で学校を引っ張っていかうと「あいさつ日本一」を目指した運動をしている。「いつでも、どこでも、誰にでも」を合言葉に校内にとどまらず、地域を巻き込んだ活動にしたいと実践している。



地域での挨拶運動



文芸発表会の様子

(2) 自分のことは自らの手で

体育大会や文芸発表会、合唱コンクールなど、生徒が活動するときは必ず生徒会が中心になっている。自分たちのことは自らの手でという意識が育ってきている。



あい・ボラ運動



灯籠清掃ボランティア

(3) 地域とともに歩む山中

「みんなのためになることは地域に広げよう」という生徒会の呼びかけで、生徒総会で「あい(愛)ボラ運動」が提案・承認された。学校周辺の歩道や道路を中心に7時30分から7時50分までの間あいさつと清掃ボランティア活動を行っている。また、山鹿灯籠祭りの次の日は生徒会主催で清掃ボランティアも行っている。